

# 西鉄組合新聞

【発行所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号  
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合  
【編集発行者】川瀬 直之  
定価 1部 30円 送料共  
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)

組合員の皆様、ご家族の皆様、  
並びにご家族の皆様、  
謹んで新春のお慶びを  
申し上げます



西日本鉄道労働組合  
執行委員長

佐田 正二

組合員の皆様、ご家族の皆様、執行部を代表して、謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より、組合の諸活動に対してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、年末年始の大変お忙しい中、昼夜を問わず勤務に精励されておられる組合員の皆様、そしてお支えいただいているご家族の皆様、心より敬意を表するとともに重ねて感謝申し上げます。

西鉄労組は、昨年1月に組合結成70周年を迎えました。今日まで脈々と受け継がれてきた歴史と伝統を継承するとともに、昨年9月の定期大会にて発足した新たな執行部のもと、組合のさらなる発展に向けて、様々な取り組みを進めているところです。本年も引き続き、2016年度運動方針に則り、組合員の皆様一人ひとりの力を結集し、共に運動を進進させていきたいと思います。

### 熊本地震復興支援の取り組み

ご存知のとおり、昨年4月に発生した熊本地震は、九州地方では初となる震度7を記録し、死者・負傷者は合わせて2,000人を超え、熊本城の石垣が崩壊するなど、深刻な人的・物的被害をもたらしました。震災から8カ月が経過した今なお、不自由な生活を余儀なくされている方は少なくありません。私鉄九州地連でも多くの仲間が被害に遭われました。改めて、被災された方々に對して謹んでお見舞い申し上げます。

熊本地震の発生を受けて、組合ではいち早く被災地の復興・復興に向けた支援をおこないました。応援メッセージを添えた生活支援物資を送り、各職場で救援カンパ

を実施し、熊本地震復興支援ボランティアを派遣するなど、様々な取り組みを継続的に実施しました。快くご協力いただいた組合員の皆様に、深く感謝申し上げます。ともに、被災地の一日でも早い復興・復興・再生を願ってやみません。

### 政策制度要求の実現に向けて

昨年7月の第24回参議院議員選挙では、私鉄総連組織内候補「もりやたかし」氏の必勝を期して、組織の全身全霊を懸けて取り組みを進めてきました。組合員の皆様およびご家族の皆様から、多大なるご支援ご協力を賜りましたことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。しかし、結果としては、目標とする得票数には及ばず、残念ながら国政に送り出すことはできませんでした。

現在、解雇の金銭解決制度や、残業代がゼロとなるホワイトカラーエグゼンプションの導入といった労働法制改悪に向けた動きが見られます。私たちの雇用と生活を守るためには、交通政策はもちろ、税や社会保障、労働、平和といった様々な政策に私たちの声を反映させなければなりません。そのためには、国や地方自治体、行政とのパイプが必要であり、各級議員との連携が必要不可欠です。

本年1月29日には、北九州市議会議員選挙が施行されます。参議院議員選挙の反省を踏まえ、私たちの仲間である、西鉄バス北九州労組組織内議員「浜口つねひろ」市議(八幡西区)の3期目当選を絶対に勝ち取らなければなりません。組合員の皆様、ご家族の皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

政治活動と政策活動は車の両輪です。今一度、政治政策に関する取り組みの重要性を、組合員の皆様にももちろん、ご家族の皆様とも共有していきたいと思えます。私たちの政策制度要求を実現していくためには、昨年4月に設立された政治団体「NNRU交通政策研究会」との連携が大変重要です。設立にあたっては、多くの組合員の皆様からご賛同をいただきました。この政治団体は、私鉄総連および西鉄労組の運動方針を支持し、交通政策要求実現のために必要な政治活動をおこなうことを目的としています。今後、セミナーの開催や、政治・政策に関する調査・研究、企画・立案などを通して、政治的的な政治団体として成熟させていかなければなりません。

17春闘について  
17春闘は、熊本地震や為替レートの影響などで、企業業績が昨年度を下回ることが予想されているため、過去最高益を更新した昨年と異なり、大変厳しいたたかひになると思われます。しかし、私たちの賃金水準は、他産業に比べて低水準であり、格差是正のためには継続的な月例賃金の引き上げが必要不可欠です。また、要員不足の問題を解決するためには、交通運輸産業の社会的地位を向上させ、魅力ある産業へと転換することが求められています。

私鉄総連は昨年12月、「17春闘職場討議案」を提起し、その中で「定昇相当分2.0%+ベア分5、600円」の月例賃金引き上げを柱とする産業別統一要求を明らかにしました。西鉄労組では、総連方針に則り、従来からの方針である「生産には協力するが、分配は対立する」を基軸に、「2017年春闘方針(案)」を策定し、1月の中央委員会にて提起させていただきました。組合員の皆様の努力が報われるよう、「人への投資」の重要性を会社に強く訴えてまいります。交渉では組合の団結力が大きな力となります。是非とも、職場・ご家庭からの力強い後押しをよろしくお願ひ申し上げます。

### 組織力強化の推進

組合では、組合組織強化の二環として、女性組合員の活躍推進に向けた取り組みを進めています。2014年度より、中央委員の資格を有する「女性委員」を新設しましたが、今年度から新たに分会役員に女性枠を設け、女性委員との連携強化を通じて、女性が組合運動に参画しやすい組織となるための環境づくりを進めています。また、中央委員の中から、必要に応じて執行委員会や会社交渉に参加することができるよう「準特別執行中央委員」を新設するなど、次世代を担う人材育成にも力を入れています。

なお、本年1月1日より、組合員の皆様の可処分所得の向上と保障の充実をはかるため、ご加入いただいている全労済の保障内容が、以前よりも手厚い保障となりました。西鉄労組独自の医療共済制度とともに、まさかの時でも安心して生活できるための一助となるはずですので。

### 結びに

依然として、私たちを取り巻く環境は大変厳しいですが、本年も「組合員の将来にわたる雇用と生活の確保」を第一義に、組合員の皆様との連帯を強化し、職場と執行部が一体となった組織運営をおこない、運動の前進を図ってまいります。

末筆ではございますが、組合員の皆様、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 謹んで新年のご祝辞を申し上げます

組織内議員  
福岡市議会議員 柝木 義博



組合員の皆様、ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年も、「道路が職場」と言える公共交通の公共性を確保する環境整備が課題であると認識しております。クルーズ船貸切バスによる交通渋滞が著しいキャナルシティ博多地区では、昨年、中央ふ頭バス待機場を整備し、「シヨットガン方式」というバス輸送方法により、貸切バス利用者の平均乗車時間を5分程度短縮しました。

進組織内議員  
福岡県議会議員 佐々木 徹



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、4月に熊本地震が発生し、余震が4千回を超える未曾有の大災害となり、熊本県を中心に、多数の方が住まいを失うなどの被害をもたらしました。この地震では、サプライチエーンが寸断され、九州山口の製造業は大きな打撃を受けるとともに、九州を周遊する観光客も激減したことで、交通ネットワークの重要性が再認識されました。

一方、昨年末に明るいニュースが入ってきました。福岡市の「博多祇園山笠」と北九州市の

また、福岡タワー周辺では、交通指導員を配置してきましたが、その効果が十分でないため、更なる対策の強化を求めています。これに対し、福岡市は、同地区における「公有地を活用した乗降場・待機場を確保する」としています。

さらに、早良口をはじめ、歩車分離信号の交差点改良が各所で進められていますが、その効果が十分に知らされていません。歩行者の安全性向上、バス、自動車の円滑な交通流の両立が必要です。まずは、その効果検証を求めていきます。本年も、「職場の道路」に視点をあて続けます。

末筆ではございますが、組合員の皆様、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

「戸畑祇園大山笠」のユネスコ無形文化遺産登録が決定されたことです。これからの、この遺産が未来の子どもたちに受け継がれていくことを願います。

さて、皆様からのご指導、ご支援のもと、第78代福岡県議会副議長に就任して早くも半年が経ちました。この間の議会活動において、熊本地震直後から、支援者派遣と支援物資の供給継続、強化と被災地の生活支援をはじめ、実効性のある「障害者差別解消条例」の早期制定、県立大の授業料減免拡充と給付型奨学金の創設、「観光王国九州」とともに輝く福岡県観光振興条例」の議員提案による成立、など多岐にわたる課題に取り組みしてまいりました。

これからも福岡県政のますますの発展と県民生活・福祉の向上のため、誠心誠意努力してまいりますので、今後とも皆様方のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

## 九州地連青年女性協議会「第39回定期総会」開催

開催日：11月24日(木)・25日(金)

場所：原鶴温泉・泰泉閣

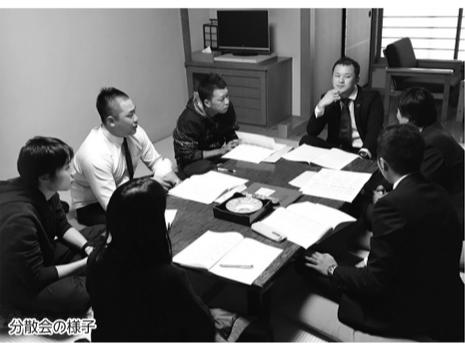
### 熊本地震災害や要員不足問題、認識を深め、議論を重ねる

11月24・25日、原鶴温泉「泰泉閣」にて、九州地連青年女性協議会「第39回定期総会」が開催されました。九州各地の組合より、幹事・代議員が集結し、西鉄労組からは13名が参加しました。

初日は、2015年度活動経過報告、2016年度活動方針(案)の審議がおこなわれ、その後、木村英史氏(熊本電気鉄道労組)より「熊本地震における現地の状況と題して、続いて柳澤卓氏(南国交通労組)より「熊本地震の災害ボランティア活動に参加して」と題して講演があり、震災当時の状況や被災者の現在の状況などを説明していただきました。講演終了後は、分散会をおこない、「今、職場で起きていること」をテーマに、各班で議論を重ねました。

最終日は、2016年度活動方針が承認された後、新役員体制が決定され、分散会発表をおこない、最後に青年女性協議会議長による「団結がんばろう」で閉会となりました。

【青年女性協議会】  
事務局長 神宮竜一



分散会の様子

**参加者**  
真名子(早良)／中原(柴原)／吉良(香椎浜)／長谷川(松原)／松田(金武)／倉元(土井)／本山、神宮、信國(筑乗)／加藤(柳乗)／畑山(線技)／廣津(事務)

九州地連「青年協議会」に参加して

秋間や春間、各職場で団結し、取り組む  
線路技術分会 畑山 大地

私は、熊本震災後、熊本を訪れておらず、メディアの情報でしか知識がありませんでしたが、当時の様子などを聞いて衝撃を受けました。また、私鉄総連より救援物資の支給があったことなどを聞き、驚きました。分散会では、有給休暇が取得できないという意見が多く、その背景には要員不足があり、解決するためには今回の秋間で声をあげなければいけないという結論になりました。今回の、定期総会や分散会を通して、このような意見交換にとどまらず、秋間や春間で私たちが組合員が団結して各職場で起きている問題に対して解決できるように取り組んでいかなければならないと思いました。

**要員不足、解決の糸口は魅力ある職場の構築**  
金武分会 松田 健太郎

記念講演で熊本地震を体験した生の声やボランティアに参加した方の話を聞き、自分たちに何ができるのかと改めて考えさせられました。分散会では、要員不足との

声が上がりが、職種によって問題点は違っても、魅力のある職場にしていくことで解決の糸口を見出すことができるのではないかと感じました。魅力ある職場を構築していくために、青年女性の活動に積極的に参加していきたいと思えます。

「職場をより良く」改めて見直す機会を得る  
本社事務分会 廣津 未遊

私にとっては、今回が初めての参加ということで当初は緊張もありましたが、終始和やかな雰囲気であったため、リラックスして臨むことができました。1日目の分散会では、各単組の皆様の「職場をより良くしたい」という共通した思いに触れ、私も自身の職場を改めて見直す機会を得ることができました。ありがとうございました。

## 「第4回福祉部会」開催

開催日：12月7日(水) 場所：組合本部

**「社寮の廃止提案に対する組合条件(案)決定」準特執中も参加**  
福祉対策部は、12月7日(水)、組合本部にて「第4回福祉部会」を開催し、第2回中央委員会にて、取り組むことを決定した「白萩社寮および緑ヶ丘社寮の廃止」および「福岡地区における寮の廃止・代替」について議論をおこなった。

今回は、職場からの意見集約を徹底したい観点から、準特別執行中央委員である馬奈木中央委員(菅岐)、牧野中央委員(筑紫工場)、今本中央委員(本社事務)、犬塚中央委員(女性委員)の4名を招集し、委員からの職場意見も踏まえた上で、それぞれの組合条件(案)を決定した。



福祉部会に参加する準特執中(右4名)



私鉄九州地連青年女性協議会 第39回定期総会

# にしてつグループプワーカーズ 協議会「第28回定期総会」開催

開催日：12月3日(土)・4日(日) 場所：熊本県阿蘇市

## 連携強化、政策 制度実現へ活動推進

にしてつグループプワーカーズ協議会(加盟20組合、佐田正二議長)は、阿蘇市にて、「第28回定期総会」を開催し、2017年度活動方針、新たな役員体制などを決定した。総会にはグループの労働組合から約70名が参加。西鉄労組からは、議長の佐田委員長をはじめ、執行部9名が参加した。

本総会では、組織強化・前進に向けた検討委員会が設立され、今後、連合体の可否および必要性、方向性について検討が進められることとなった。また、今後も組合間の情報交換および連携を強化し、「組合員の雇用と生活の確保」を最優先課題とし、「労働条件の維持向上ならびに社会的地位安定」を求める取り組みを推進することなどが決定された。

- 〔2017年度役員〕
- 議長 佐田正二(西鉄労組)
- 副議長 本田芳幸(西鉄観光バス労組)
- 宮原征也(筑豊電気鉄道労組)
- 花島繁春(柳川西鉄タクシー労組)
- 事務局長 渡辺裕二(西鉄労組)
- 幹事 各単組執行委員長
- 会計監査 加賀利広(西鉄グループバス労組)
- 福井明文(西鉄旅行労組)

# 北九州市議選1月29日投開票!

## 組織外推薦候補

# 「浜口つねひろ」候補(八幡西区)を、三たび市政へ!

組合は、西鉄バス北九州労働組合の組織内議員である「浜口つねひろ」北九州市議会議員(八幡西区)を、組織外推薦候補として決定しております。組合員の皆様、ご親族・ご友人の皆様、温かいご支援をよろしくお願い致します。

また、浜口候補に加えて、「せら俊明」候補(小倉北区)を重点候補に位置づけるとともに、下記候補者も応援しております。重ねて、温かいご支援をよろしくお願い致します。



### 世良俊明(せらとしあき)候補

●生年月日/1954年2月19日生(62歳)  
●所属政党/民進党  
福岡県立福岡工業高校 卒業  
西日本鉄道(株)入社 西鉄バス北九州(株) 転籍  
私鉄九州地連 副執行委員長 連合福岡 政治局長  
北九州市議会議員 初当選(2009年) 再選(2013年)



### 世良俊明(せらとしあき)候補

## 北九州市議会議員選挙 支援候補一覧

氏名	選挙区	所属政党	出身産別
世良 俊明(せらとしあき)	小倉北区	民進党(現6期)	情報労連
奥村 直樹(おくむらなおき)	門司区	民進党(現2期)	基幹労連
森 浩明(もりひろあき)	小倉南区	無所属(現5期)	基幹労連
森本 由美(もりもとゆみ)		社民党(現4期)	自治労全国一般
河田圭一郎(かわたけいいちろう)	戸畑区	民進党(元2期)	基幹労連
三宅まゆみ(みやまゆみ)	若松区	民進党(現5期)	基幹労連
白石 一裕(しらいしかずひろ)	八幡東区	民進党(現2期)	基幹労連

# 全労済の保障が手厚くなりました!

1月1日より、組合員の可処分所得の向上と保障の充実を図るため、一律加入している全労済団体生命共済の保障内容が、以下の通り改定されました。

## 保障内容

2017年1月より、全労済一律保障内容と掛金が変わります。

【全員一律加入】組合員は全員、この保障に加入しています。

月掛金 **1,840円**

保障	共済事由	保障額
死亡	病気等による死亡	400万円
	不慮の事故等による死亡	800万円
	交通事故死亡	800万円
	病気による重度障がい	400万円
障害共済金	不慮の事故による障がい	第1級~第3級の一部 800万円 第3級の一部~第14級 16万円~360万円
	交通事故による障がい	第1級~第3級の一部 800万円 第3級の一部~第14級 16万円~360万円
	疾病障害見舞金 <sup>*1</sup>	16万円
	療養共済金	
療養共済金	不慮の事故による入院	(日額) 4,000円
	病気による入院	(日額) 4,000円
	交通事故による入院	(日額) 4,000円
	通院	(日額) 0円
	ドナー支援金 <sup>*2</sup>	4万円
掛金		1,840円

\*1: 被共済者が共済期間中にしめて下記の特定の身体の障がいとなったとき。  
 (1) 恒久的心臓ペースメーカーを装着したもの  
 (2) 心臓に人工弁を装着したもの  
 (3) 腎臓の機能を全く永久に失い、かつ、人工透析療法または腎移植を受けたもの  
 \*2: 被共済者が共済期間中に生体間における臓器移植のドナーとなつて骨髄または臓器を移植することを直接の目的とした手術をした場合。  
 ※国内の病院または診療所において受けた手術が対象となります。



# 西鉄労組ホームページ新設

スマートフォンからいつでもアクセス可能に!



組合では、昨年末、自宅PCやスマートフォンからアクセス可能なホームページを新設しました。これまでのホームページは、社内ネットワークの中でしか閲覧することができず、職場にPC環境が無い組合員は閲覧することが難しいという問題がありました。新しいホームページでは、これまで掲載されていた組合員必携、かべ新聞など機密性の高い文章は公開せず、組合新聞など一部にとどめ、組合の動向を即時に分かりやすく伝えることに重点を置いた内容となっています。また、共済申請書類ダウンロードや写真ギャラリーなどを設け、便利で親しみやすいホームページとなっています。PC、スマートフォンから今すぐアクセスしてください!



お使いのスマートフォンのアプリから上のコードを読み込んでください

ホームページ...<http://nnr-u.org/>

# 分会トピックス

## 志岐分会餅つき大会

志岐分会では、12月3日(土)、志岐営業所内で毎年恒例の餅つき大会を開催しました。

例年のように、西警察署の方にはパトカーを展示していただき、子どもたちは大喜びでした。また、地域住民の方や、バスをお待ちの方などにも飛び入りで参加していただき、大盛況に終わりました。



## 労働関係NEWS(12月上旬)

- 金属労協、ベア3,000円以上要求→17春闘方針【2日】
- 川崎鶴見臨港バス労組、24時間スト実施→拘束時間の軽減求める【4日】
- 育児休業、最長2年に延長する方針→厚生労働省、労働政策審議会【7日】
- JAM(ものづくり産業労組)、ベア6,000円要求→17春闘方針案【7日】
- 月末金曜15時退社プレミアムフライデー、2月実施を企業に呼びかけ→経済産業省など【12日】
- 雇用障害者数過去最高を更新→厚労省、平成28年障害者雇用状況【15日】
- 時間外労働に罰則付き上限設けるよう提言→自民党、働き方に関する特命委員会【15日】

